

1. 教育事業報告

(1) 教育目標と具体的方策

令和5年度は、予定していた行事は新しい形を取り入れながら全て実施することができた。学生生活では各学科学年間のコミュニケーションは取りやすくなったが、まだ機会は十分とは言えず、悩みを抱えていても相談できず、ストレスを抱えこむ学生も少なくなかった。また、学習面では新しい形のサポートを実施し、日々の振り返りの機会を多くして学習意欲の向上に努めた。

近年、学習習慣が定着していない学生が多く、授業についていけないなどの訴えが増えている。令和5年度より、初学年に週1回の頻度で、教員を含めた小グループでの補習を時間割に組み込んだ。前期日程後に実施したアンケートでは、「学習に対する意欲の向上と取り組みが変わった」と全体の90%近くが回答した。後期からは、2年生にも同様の補習を実施した。

(2) 国家試験対策

《令和5年度国家試験合格率》

学科名	総数				新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
理学	40	36	90.0	89.2	36	33	91.7	4	3	75.0
作業	19	17	89.5	84.1	18	17	94.4	1	0	0.0

令和5年度は新型コロナウイルス感染が5類になったことで、基本的に対面対応を実施している。例年通り、国試塾の導入（対面対応）や模擬試験、国家試験対策授業を計画的に組み込んだ。学習方法については、徹底的に学んだ内容をアウトプットするように、ペア学習（声を出して問題を解き合う）やグループ学習を中心に指導した。12月以降は基礎領域の内容を中心に学習するように指導して、各自がベースアップできるように対応した。既卒者に対しては既卒者プログラムを実施し、前期から定期的に対面にて参加させ、後期からは在校生と一緒に対策講義に参加させた。今年度の国家試験の内容として、出題傾向が変わっていたが、例年に比べ難易度は低かった印象である。不合格となった学生の特徴として、アウトプットする能力が低く、基礎領域の点数が低い傾向がみられた。今後の対応として、徹底的に基礎領域の学習を中心にして、用語を説明できる力を身につけられるように前期より、補習等を通して関わっていきたい。

(3) 実施した行事

4月5日（水）	入学式
4月8日（土）	実習指導者会議（オンライン）
4月16日（日）	実習指導者研修会（オンライン）
4月23日（土）	医技専さるく博
7月24日（月）～8月3日（木）	1・2年生前期定期試験
8月17日～23日	2年生 解剖学内演習
9月9日（土）	総合選抜型入試
9月12日（火）・13日（水）	長崎県専修学校スポーツ交流大会
10月初旬随時	就職説明会
10月14日（土）	指定校・推薦試験入試
10月28日（土）	イギセンピック
11月26日（日）	一般・社会人I期入試
12月11日（月）～19日（火）	2年生 後期定期試験
令和6年1月22日（月）～2月3日（土）	1年生 後期定期試験

2月4日(日)	一般・社会人Ⅱ期入試
3月8日(金)	卒業式
3月11日(月)	一般・社会人Ⅲ期入試

その他：スクールカウンセリングルーム（毎週1回）

(4) 学生募集活動（広報活動）

- ① 募集状況：理学療法学科 39名（対前年比84.7%）作業療法学科 25人（対前年比78.1%）
理学・作業共に定員に満たない結果となった。例年同様、作業療法学科の希望者が少ないために、作業療法を知ってもらうための方策を検討中である。
- ② オープンキャンパス及び出張学校説明会：年間11回開催（全て対面開催）。
受験対象者の参加者数は107人。
- ③ 認知：オープンキャンパス参加者のアンケートでは、本校を知ったきっかけの1位が医技専HP。
2位が高校の進路の先生から聞いた。3位がガイダンスに参加して聞いた。
- ④ WEB広告：認知1位である医技専HPへ誘導するために、TVCMを廃止し、WEB広告を展開した。
- ⑤ 進路ガイダンス・説明会への参加：56会場に参加。
- ⑥ 高校訪問：長崎県内全域の高等学校を訪問。訪問回数は延べ200校を訪問。対前年比100%。
- ⑦ 学校見学の受入れ：1校（長崎商業高校PTA）
- ⑧ 学生専用アパート：13名の入居があった。
- ⑨ 中学校職業講話：2校（長崎市立琴海中学校、長崎市立大浦中学校）
- ⑩ 活動エリアの拡大：佐賀県西部地区高校12校に対しても訪問開始。

2. 施設整備

- (1) 自動販売機の増設

3. その他

- (1) 職業実践専門課程評価委員会の実施.
- (2) 教員評価の実施

次回令和6年度事業報告から、年度内退学者数を追記する